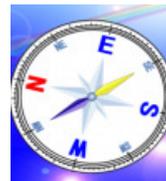


羅針盤



2012/4/9
NO. 1

〈編集・発行〉

東中3年進路指導部

「進級おめでとう」 新たなスタートへ！

いよいよ最上級生！

最上級生となり、誰もが「気持ちを新たにがんばるぞ！」と思っているでしょう。しかし、その気持ちをもち続けることが大切なのです。

最上級生になった＝進路決定の時期

まだ、3年生になったという実感がわからず、遠い先の話と思っていた人もいます。しかし、進路を決定する時は今年度中にくるのです。

すでに、将来の計画を立てている人もいれば、まだあいまいな人もいます。

今のように、気持ちを新たにしている時期にもう一度自分自身を見つめてほしいです。そして、よく考え、より自分にあった適切な進路を決定してもらいたいです。就職するにしても、進学するにしても、ただ決めればよいというものではありません。問題は、その進路先でどういう生活をしていくかということです。進路の問題は「なるようになる」「なんとかなる」というわけにはいきません。焦ってもいけませんし、むやみに不安がる必要もありません。分からないことはどんどん担任の先生に相談してください。それが、進路決定への準備となるのです。

進路決定で一番大切なことは「進路は、自分で判断し、決定する」ということです。そのためにも、おうちの人や先生とよく相談し、自分で納得した進路決定をしてもらいたいです。

お願い

進路便り「羅針盤」は、不定期に発行し、その時々進路情報を提供します。必要な事柄がないか、必ず確認してください。重要な情報や連絡も適宜掲載していきますので、保護者の方にも確実に届くようにしてください。

①学習編

就職しようとする人も、進学しようとする人も「試験」が待っています。義務教育9年間に学んだことがらが試されます。短い期間の学習で突破できるものではありません。今、行うべきことは何ですか？

②生活編

就職・進学に際しては、中学校を卒業した者としての生活力も求められます。あいさつや言葉遣い、ルールや時間を守ること、人に迷惑をかけずに協力できることなど…。

自分が勝手に思い込んで押し通そうとする「自分ルール」は、通用しません。

もう一度、自分の言動から考えることが必要です。

③気持ち編

「さあ、がんばるぞ！」という気持ちが出発点です。就職・進学などこれから考えていく進路は、みなさん自身のもの。まずは、自分から進路を考えようとする気持ちが必要です。その気持ちが次のステップへとつながります。

さあ、これからの7年間でみんなにとって充実した日々になり、達成感の得られるものとなるよう期待しています。

